

7. 補遺2 - 配分メカニズムの有効性評価

A. 政策目的別の予測効果							
配分メカニズムのタイプ	アクセスと公平性				外部 効率性	内部効率性	
	アクセス水 準の向上	アクセスの 公平性向上	生涯学習の 促進	私立部門の 拡大	品質と合目 的性の向上	コストの増 加抑制	スループッ トの向上
I. 公的な機関直接補助							
1. 教育、運営および投資に対するファンディング							
1.1. 交渉型予算	-	-		-		+	-
1.2. 機関種別・用途指定型資金	-				+		
1.3. ファンディング・フォーミュラ							
i) インプット・ベース					-	+	
ii) コスト・ベース							
- 学生あたり実績コスト			-	-	-	--	
- 学生あたり平均コスト						+	
- 学生あたり標準コスト					+	++	
iii) プライオリティ・ベース			+		++		
iv) 業績ベースの構成部				+			++
1.4. 業績ベース・ファンディング							
i) 一部業績連動型配分							
ii) 業績契約							
iii) 競争的資金					++		
iv) 成果連動型配分		+				+	++
2. 大学ベースの研究に対する公的ファンディング							
- 教育・研究一体型配分					-		
- ブロック補助金					+	+	
- ピアレビューによるプロジェクト資金			+		+	-	
II. 学生・家計に対する公的ファンディング／機関間接補助							
1. 需要サイド・パウチャー							
	+	-	-	++		+	-
2. 補助金と奨学金							
- 教育機関によるもの				+/-			
- 学生支援パウチャー		+		++		+/-	
- 資産調査によるもの	+	+					
- メリット・ベース		-			+		
- ニード・ベースとメリット・ベースの混合	+	+			+		
3. 税制優遇措置							
- 学費の相殺	+	-	+	+	-	-	-
- 家計手当	+	+/-					
4. 学生融資							
i) モーゲージ型	+					-	
ii) 所得連動型	+	++	+			+/-	
5. 補助・融資混合型							

+ = プラスの効果

- = マイナスの効果

+/- = 制度設計に効果は左右される

B. どの配分メカニズムがより効果的か

追求すべき政策目的

- ・ アクセスと公平性の向上
- ・ 外部効率性の向上（品質と合目的性）
- ・ 内部効率性（コスト軽減とスループット）および持続可能性の向上

アクセスと公平性の向上

- ・ 通常の年齢層の学生
 - － 学生に対して補助金、奨学金および融資を与え、学費高騰の悪影響を相殺してコスト・シェアリングを図る
 - － 学生融資の所得連動型返済を導入する
 - － 在学生ベースのファンディング・フォーミュラを導入する
- ・ 不遇な学生
 - － ニード・ベースの補助金・奨学金の拡大を図る
 - － 不遇な学生の在籍や卒業に対して、教育機関に追加補助を支払う
- ・ 生涯学習の機会
 - － ニード・ベースの補助金とメリット・ベースの奨学金
 - － 学生融資
 - － 高等教育課程に在籍する就労者に対する税制優遇措置
 - － 生涯学習バウチャー
 - － 貯蓄預金の奨励

外部効率性の向上

- ・ 品質の向上
 - － 競争的資金
 - － メリット・ベース奨学金
- ・ 合目的性の向上
 - － プライオリティの高い領域に異なる重みづけをするフォーミュラ
 - － 合目的性のプライオリティを持った競争的資金
 - － プライオリティの高い領域における補助金・奨学金
 - － プライオリティの高い領域や公務に就くことによる融資返済免除

内部効率性および持続可能性の向上

- ・ コスト抑制
 - － 標準コストにもとづくファンディング・フォーミュラ
- ・ スループットの改善
 - － アウトプット・ベースのフォーミュラ
 - － 成果連動型配分
 - － 業績契約